今回は柳島の藤間家を中心としたコースを紹介します。

中島・柳島は市南西部、相模川の東に位置しています。明治期の「茅ヶ崎八景」にも選ばれた風光明美な地域です。

バス停「柳島」から西に200㍍ほど入ったところに、江戸時代に柳島村の名主で廻船問屋だった藤間家があります。往年の生活ぶりをしのばせる広大な屋敷の一角に「藤間資料館」（私設）があります。常時公開ではありませんが、同家に伝わる家具・調度品を中心に、柳島湊に関する古文書や道具類などが多数保存されています。

また、屋敷内にはタブノキやクスノキなどの高木を始め植物も多く、庭の一角に藤間家家訓の碑や詩碑が建立されています。

一度、ゆっくり歩いてみてはいかがですか。

【生涯学習課文化財保護担当】

今回の発見！

藤間家とその周辺（中島・柳島）を歩く

①状部屋跡

幕府公用や諸大名の書状を、相模川が川止めになった場合に置くために設けられた部屋で、中島村の村民が守っていた。

②日枝神社

慶安２（１６４９）年、中島村の鬼門除として、大山祈命を勧請し山王社として祭られ、明治２年に社名を改称した。

③殿屋敷

江戸時代の中島村の領主、山岡氏の屋敷跡といわれている。天正19（1591）年5月、山岡氏が徳川家康より中島村と浜之郷村に、合わせて300石の領地を与えられたと「知行宛行状」に記されている。

⑥柳島八幡宮

柳島の鎮守。境内に「(*)藤間柳庵之碑」（昭和58（1983）年建立）がある。題字は長洲一二元神奈川県知事、撰文は川城三千雄氏、書は水越茅村が揮毫したもの。

⑥善福寺

柳島山宝亀院と号する。高野山真言宗の寺院。享徳年間（1452～5年）の創建といわれ、藤間家先祖の墓、藤間柳庵の墓などがある。

④藤間家と藤間資料館

屋敷内には、藤間資料館や市指定天然記念物の「キャラボク」がある。

藤間資料館内

藤間邸は昭和８（1933）年に建てられた、「中廊下型住宅」と呼ばれる洋間付き住宅。

＊藤間柳庵…享和元（1801）年、柳島村に生まれた。名は恒、字は如月、通称は善五郎、号は星譚、のちに柳庵と称した。幼少より書を習い、学問は江戸に出て学んだと言われ、文人としても著名。名主として村政に尽力する傍ら、家業の廻船業を繁栄させた。昭和55（1980）年に「かながわの100人」に選ばれた。